

令和3年度 学生募集要項 —美術工芸学部—

[一般選抜]
[私費外国人留学生選抜]

- 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限
令和3年1月21日（木）午後5時まで
 - 出願期間（前期日程試験・後期日程試験共通）
令和3年1月25日（月）～2月5日（金）
※2月5日（金）郵送発信局消印有効
※前期日程・後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ出願書類を作成し個別に出願すること。
 - 試験日程
（前期日程試験）
 - 絵画専攻：令和3年2月25日（木）～2月27日（土）
 - 彫刻専攻：令和3年2月25日（木）～2月28日（日）
 - 芸術学専攻：令和3年2月25日（木）～2月27日（土）
 - デザイン専攻：令和3年2月25日（木）～2月27日（土）
 - 工芸専攻：令和3年2月25日（木）～2月27日（土）（後期日程試験）
 - 絵画専攻：令和3年3月12日（金）～3月14日（日）
 - 彫刻専攻：令和3年3月12日（金）～3月15日（月）
 - 工芸専攻：令和3年3月12日（金）～3月14日（日）（追試験）
 - 全専攻：令和3年3月23日（火）、24日（水）
 - 合格者の発表
（前期日程試験）
令和3年3月5日（金）午前10時 ※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）
（後期日程試験）
令和3年3月20日（土）午前10時 ※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）
（追試験）
令和3年3月26日（金）午前10時 ※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）
 - 入学手続期間
（前期日程試験）
令和3年3月8日（月）～3月14日（日） ※3月14日（日）午後5時までに必着
（後期日程試験）
令和3年3月22日（月）～3月27日（土） ※3月27日（土）午後5時までに必着
- ◇新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学者選抜試験を実施するため、遠隔による試験を導入します。また、今後の状況によっては入試科目の見直し、試験方法及び日程等を変更する場合があります。その場合は大学ホームページで告知します。



令和2年9月

沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

メールアドレス kyomu@okigei.ac.jp

令和3年度 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部学生募集要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	3
第3	一般選抜	
1	出願資格	3
2	選抜方法等	4
3	個別学力検査等の試験科目と日程	6
4	出願手続	13
5	受験票	14
6	受験上の注意	14
7	合格者の発表	15
8	入学手続	16
9	入試成績開示	16
第4	学校推薦型選抜	17
第5	私費外国人留学生選抜	
1	出願資格	17
2	選抜方法等	17
3	個別学力検査等の試験科目と日程	17
4	出願手続	17
5	受験票	20
6	受験上の注意	20
7	合格者の発表	21
8	入学手続	21
9	その他	22
第6	教員免許状	22
◎	学生生活	22
◎	一般選抜入学願書、写真票・受験票の記入例	24
※	出願用書類（綴込用紙）	
○	一般選抜入学願書（前期日程試験）	【薄黄色紙（薄赤色字）】
○	一般選抜入学願書（後期日程試験）	【薄黄色紙（薄赤色字）】
○	一般選抜（前期日程試験）写真票・受験票	【薄黄色紙】
○	一般選抜（後期日程試験）写真票・受験票	【薄水色紙】
○	私費外国人留学生選抜入学願書、写真票・受験票	【薄茶色紙】
○	領収書・領収書原符（一般（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜共通）	【薄黄色紙】
○	領収書・領収書原符（一般（後期日程試験））	【薄水色紙】
○	受験票送付用封筒（一般（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜共通）	【薄茶色封筒】
○	受験票送付用封筒（一般（後期日程試験））	【薄水色封筒】
○	出願書類提出用封筒（一般（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜共通）	【薄茶色封筒】
○	出願書類提出用封筒（一般（後期日程試験））	【薄水色封筒】

令和3年度 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計2科目を試験科目として課します。
 - ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
 - ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。
- いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。

美術工芸学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもちろん、造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を見出せる作家や研究者などの専門家の養成をめざします。

高い技術や専門知識、総合的かつ国際的な視野を身につけ、次代を担う個性的で優れた人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者、教育者などの専門家を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的視野を身につける教育を行います。

【求める人材】

美術工芸学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び美術工芸学部の教育の理念をよく理解し、大学での学習に必要な基礎的な知識と技能を備えている人
- 2 美術・デザイン・工芸分野における制作や学習において、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を備えている人
- 3 美術・デザイン・工芸の分野において作家、研究者、教育者などの専門家になる意欲のある人
- 4 芸術文化の多様な背景を理解し、人とのコミュニケーションを大切に考え、社会性を認識し主体性を持って他者と協働できる人
- 5 沖縄固有の芸術文化や自然等に関心があり、沖縄で学ぶことに意義を見出せる人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

美術工芸学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、「学力の3要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性）」を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに総合点の上位から合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、実技検査、小論文、面接（プレゼンテーションを含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、絵画・デザイン・工芸各専攻は課題作品、小論文の提出と面接（プレゼンテーションを含む）を、芸術学専攻は小論文の提出と面接、口述試験を実施し、大学での学習に必要な知識、技能、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び高等学校長からの推薦書、志願者本人の記載する資料等を活用します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 専門分野の実技と理論において、必須科目を中心とした体系的な授業科目の編成
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 自らの学修計画に基づき主体的に履修できる選択科目の編成
- 4 大学の学修活動全体を通じて汎用的基礎能力を育成する教育の実施
- 5 現代社会における美術・デザイン・工芸の役割を認識し、地域との連携を図り、社会との関係を学ぶ教育の実施

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、作品・論文・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学 科	専 攻	入 学 定 員	募 集 人 員			
			一般選抜		学 校 推 薦 型 選 抜	私費外国 人留学生 選 抜
			前期	後期		
美 術 学 科	絵 画 専 攻	10	4	4	2	若干名
	彫 刻 専 攻	5	3	2	0	若干名
	芸 術 学 専 攻	6	4	0	2	若干名
デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	16	0	4	若干名
	工 芸 専 攻	24	10	4	10	若干名
計		65	37	10	18	若干名

注1：学校推薦型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。

注2：私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員を含む。

注3：工芸専攻では2年次前期終了時に染分野、織分野、陶芸分野、漆芸分野の選別（選択制）を行い決定する。

第3 一般選抜

1 出願資格

次の各号の一に該当し、かつ、本学美術工芸学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目（5ページの別表参照）を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和2年10月16日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

※注意事項

受験者は、前期日程試験、後期日程試験の両方に出願することができます。ただし、出願に必要な書類、入学考査料などは、各試験毎に必要なになります。それぞれに出願してください。

2 選抜方法等

(1) 選抜方法

美術工芸学部的一般選抜は、分離・分割方式の前・後期日程により行う。2段階選抜、帰国子女等の特別選抜、定員一部保留第2次募集は行わない。

(2) 合否判定基準

大学入学共通テストの得点と本学が実施する個別学力検査等の得点を合計して総合得点とし、専攻・コース内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。

(3) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、5ページの別表による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象とする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。

(4) 遠隔入試

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学選抜試験を実施するため、遠隔入試を導入する。遠隔入試とは、受験者が来校せずに受験する入試を指し、郵送、オンライン、メール、電話等を利用した試験である。遠隔入試実施の詳細については随時大学ホームページにて公表するので、留意すること。

遠隔入試では『提出型試験』と、『オンライン（リアルタイム）型試験』の2種類の方法で実施する。『オンライン（リアルタイム）型試験』については、オンラインシステム(Zoom等)を使用する。詳細については本学ホームページにて公開する。

(5) 追試験

試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、令和3年3月23日（火）、3月24日（水）に追試験として受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。詳細については対象者に本学より連絡を行う。

令和3年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

学部及び入学年度 (令和2年度志願倍率)	学科等 名 等 (令和2年度志願倍率)	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等					
			教科	科目名等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科 注1	外国語 注2 (50:50)		小論文 提出型	実技		面接	配点 合計
																提出型	オンライン型		
美術工芸学部 (3.1)	美術学科 前期4 後期4 その他2	前期 2/25～ 2/27 後期 3/12～ 3/14	国	を必ず受験	国を必ず受験 世A,世B,日A,日B,地理A, 地理B,現社,倫,政経,倫・政経 教I,教I・教A, 教II,教II・教B,簿,情報 物,化,生,地学, 物基,化基,生基,地学基(注1)	前期 2/25～ 2/27	その他	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100	600	100	300	推薦 外国人 追加 合格
65人 前期37 後期10 その他18	彫刻専攻 前期3 後期2	前期 2/25～ 2/28 後期 3/12～ 3/15	外国語	を必ず受験 英,独,仏,中,韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) [3教科3科目(ただし、「理科」の基礎を 付した科目を選択する場合は4科目)]	前期 2/25～ 2/27	その他	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	200	600	100	300	推薦 外国人 追加 合格
44人 前期16 後期4 その他14	デザイン 専攻 前期4 後期4 その他14	前期 2/25～ 2/27	その他	を必ず受験 実技検査(素描) 小論文 面接	前期 2/25～ 2/27	その他	共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	*300	100	300	600	推薦 外国人 追加 合格
30人 前期10 後期4 その他16	工業専攻 前期4 後期4 その他16	前期 2/25～ 2/27	その他	を必ず受験 実技検査(素描) 色彩構成 立体構成 面接	前期 2/25～ 2/27	その他	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100	600	100	300	600	推薦 外国人 追加 合格

注1 「理科」の基礎を付した科目を選択する場合には、必ず「理科」の基礎を付した科目から2科目を選択しなければならぬ。なお、その際の選択科目の総数は、「理科」の基礎を付した科目を選択しない場合に比べて、1科目増えることに注意すること。

注2 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

注3 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
 (1)各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。また本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。
 (2)英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。
 (3)理科の基礎を付した科目については、選択した2科目の合計得点を各専攻の理科の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
 配点に*印を付してある教科・個別学力検査等は選択教科・個別学力検査等を表す。

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程、後期日程）の個別学力検査等に係る試験科目と試験実施方法は、次のとおりである。

(1) 試験科目

試験科目		実技検査							小論文	面接	
		素描	着彩	色彩構成	立体構成	作品資料	素描	塑造			
学科・専攻名		提出型					オンライン型		提出型	オンライン型	
美術 学科	絵画	前期	◎	◎			◎				◎
	専攻	後期		◎			◎			◎	◎
	彫刻	前期						◎	◎		◎
		専攻	後期					◎	◎		◎
	芸術学専攻			○						○	◎
デザイン 工芸学科	デザイン 専攻		◎		◎	◎					◎
	工芸	前期	◎		◎		◎				◎
		専攻	後期	◎		◎		◎			◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。○印は選択科目を示す。
 注2：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを選択する。
 注3：芸術学専攻は、実技（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。
 注4：デザイン専攻及び工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

(2) 試験日程等

◆前期日程◆

▼絵画専攻

試験日		2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)
試験科目 試験時間	実技：実技作品①(素描・着彩)、実技作品②(作品資料)	面接 9：30～17：30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 実技作品①(素描・着彩)の「出題文」は、12月7日(月)に本学ホームページにて公表する。 実技作品①(素描・着彩)、実技作品②(作品資料)を出願時に郵送等にて本学に提出する。 ※2月5日(金)消印有効	<ul style="list-style-type: none"> オンライン(リアルタイム)で実施する。 面接時間は、上記の時間内にて1人あたり20分程度。 	・「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照	
提出物 及び 準備する もの	実技作品①(素描・着彩) 油画(素描・着彩)又は日本画(素描・着彩)いずれかの実技を選択する。※用紙、画材等は自分で用意すること。 ・ 油画(素描) 用紙及び画材：木炭紙に木炭、又は画用紙に鉛筆。 作品サイズ：木炭紙は木炭紙サイズ。画用紙は木炭紙サイズパネル水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はフィキサチーフで定着し、画用紙の場合はパネルから切り離さずに梱包し提出) ・ 油画(着彩) 用紙及び画材：キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具または水彩用具。 作品サイズ：キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出) ・ 日本画(素描) 用紙及び画材：画用紙に鉛筆。 作品サイズ：木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はフィキサチーフで定着しパネルから切り離さずに梱包し提出)	<ul style="list-style-type: none"> 実技作品①②、出願書類を基に面接試験を実施する。 本学に提出した実技作品②(作品資料)と同様のものを必ず手元に準備しておくこと。 		

	<p>・日本画（着彩） 用紙及び画材：画用紙に水彩用具。 作品サイズ：木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出） 実技作品②（作品資料） 1年以内に制作した素描、着彩（合計10点以内）を撮影し、プリントアウトした用紙（A4）をクリップで留めること。提出時は実技作品①と一緒に提出。（全用紙下部には、氏名、作品サイズ、制作年、ページ番号を明記する） ※実技作品②（作品資料）は、前期日程・後期日程の併願であっても必ず各1部を提出すること。 ※実技作品①②は返却しない。</p>	
試験に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実技作品①の作品裏面右上に、必ず前期日程及び氏名を明記すること。 ・実技作品①の作品裏面中央に、必ず上下が分かるように矢印（↑）を明記すること。 ・前期日程・後期日程の併願の場合は、提出物の日程区別がわかるようにして一緒に梱包し郵送等にて提出すること。（※なお、前期日程・後期日程では提出物の内容が異なるため必ず確認すること。） ・実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ・実技作品①②はすべて自作であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「6 受験上の注意」14～15ページを参照のこと。

▼彫刻専攻

試験日	2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)	2月28日(日)
試験科目	実技試験 素描	実技試験 塑造	面接 9:00～17:00	予備日
試験時間	9:00～12:00 (午後は予備時間とする)	9:00～12:00 (午後は予備時間とする)	上記時間内にて20分程度 (午後は予備時間とする)	
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 ○「出題文」は試験開始時に伝える。 ○試験用紙は2月8日(月)以降に本学から送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 ○「出題文(モチーフ)」は試験開始時に、『受験者自身の身体の一部』から出題する。 ○試験用材料は2月8日(月)以降に本学から送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
受験者が準備すべき用具、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○鉛筆、消具 	<ul style="list-style-type: none"> ○塑造用具は2月8日(月)以降に本学から送付したものを使用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実技試験の塑造作品を側に用意すること。 	
	<p>以下の資料を本学指定の包装箱に入れ、郵送等にて提出すること。 ①1年以内に描いた素描5枚(紙の種類、大小を問わない。) ②その他作品資料があれば提出。</p> <p>提出期限：令和3年2月24日(水) 必着</p>			
試験に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○出願用書類に記載された入学志願者現住所宛に、本学から次のものを2月8日(月)以降送付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料①②提出用の包装箱 ・「実技試験・素描」の試験用紙 ・「実技試験・塑造」に必要な材料と塑造用具 ・説明書 ○実技試験の10日前になっても送付物が届かない場合は、彫刻専攻学科室(098-882-5046)に電話すること。 ○後期を併願する場合、資料①②は前期・後期両方の提出物として扱う。それぞれに提出する必要はない。 ○実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ○試験作品及び試験用の材料・用具等は、全て試験終了後に本学へ返送すること。 ○後期を併願する場合を除き、資料①②は3月1日(月)以降に着払いで返却する。 ○「6 受験上の注意」14～15ページを参照のこと。 			

▼芸術学専攻

試験日		2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)
試験科目 試験時間	素描/小論文 (いずれかを出願時に選択する) 試験問題の到着 (2/15) から提出期限日 (2/17) まで	面接 9:30~17:30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 提出型で実施する。 入学願書に記載された住所宛に、本学から次のものを送付する。 試験問題、用紙(素描)、解答用紙(小論文)、試験の流れについての説明 受験者は指定された期限までに取り組み、実技作品(素描)もしくは小論文解答を本学宛に郵送で提出(返送)する。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン(リアルタイム)で実施する。 面接時間は、上記時間内にて1人あたり20分程度 		「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
提出物 及び 準備する もの	素描 <ul style="list-style-type: none"> 用紙(イラストボード、B3)は出願後に本学から送付する。 [準備するもの] 画材(鉛筆、消しゴム等) 小論文 <ul style="list-style-type: none"> 問題用紙、解答用紙は本学から送付する。 [準備するもの] 筆記用具 	<ul style="list-style-type: none"> 素描あるいは小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。 「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず手元に準備しておくこと。 		
試験に 関する 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実技作品(素描)もしくは小論文解答は必ず提出期限(2/17)までに提出すること(消印有効)。 実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 「6 受験上の注意」14~15ページを参照のこと。 		

▼デザイン専攻

試験日		2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)
提出期限	2月16日(火) 必着			
試験科目 試験時間	実技試験(素描・色彩構成・立体構成)	面接(プレゼンテーション含む) 9:30~17:30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 実技作品を郵送等にて提出※1 素描、色彩構成、立体構成の「出題文」は1月18日(月)に本学ホームページにて公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン(リアルタイム)で実施する。 面接(プレゼンテーション含む)時間は、上記の時間内にて1人あたり30分程度。 		「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
提出物 及び 準備する もの	<ul style="list-style-type: none"> 素描1点 B3画用紙(水張りパネル不可) 色彩構成1点 B4画用紙(水張りパネル不可) 立体構成1点 A4写真3枚(カラー出力可) 素描・色彩構成・立体構成で使用する画用紙や絵の具、材料、道具などは、一般的なものを各自で準備する。 作品資料 受験者自身が制作した作品(10点以内)をA4サイズのファイルにまとめる。※2 活動履歴書 作品公募、校内コンクール、部活動等の受験者自身の活動履歴をA4用紙(裏表合わせて1枚以内)にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 面接(プレゼンテーション含む)は作品資料や活動履歴書を基に実施するので、作品資料や活動履歴書の中から、自分がアピールしたいものを準備しておくこと。 		
試験に 関する 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 素描、色彩構成、立体構成の裏、作品資料にも必ず受験番号と氏名を、目の付きやすいところに明記しておくこと。 実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 <p>※1 提出物は、出願先住所宛に郵送等で提出すること。 ※2 提出物(素描、色彩構成、立体構成、作品資料、活動履歴書)は、返却しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「6 受験上の注意」14~15ページを参照のこと。 		

▼工芸専攻

試験日		2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)
試験科目 試験時間	実技：①素描、②色彩構成、③作品資料1、④作品資料2	面接(プレゼンテーション含む) 9:30～17:30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ①素描と②色彩構成の「出題文」は12月7日(月)に本学ホームページにて公表する。 実技(①～④)は出願時に郵送等にて本学に提出すること。 ※2月5日(金)消印有効	<ul style="list-style-type: none"> オンライン(リアルタイム)で実施する。 面接(プレゼンテーション含む)時間は、上記の時間内にて1人あたり20分程度。 		「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
提出物 及び 準備する もの	①素描1点 B3画用紙に鉛筆 ②色彩構成1点 B3ケント紙又は画用紙に絵の具(①と②で使用する画用紙や鉛筆、絵の具、道具などは、一般的なもの各自で準備する。)(①と②は水張りパネル不可) ③作品資料1 1年以内に制作した素描2点と色彩構成2点(モチーフ及びサイズは自由)(水張りパネル不可) ④作品資料2 これまでに制作した作品や収集資料などのファイル(あなたの美意識をアピールできるものを、A3サイズのファイルにまとめる)	<ul style="list-style-type: none"> 面接は調査書を基に実施する。 プレゼンテーションは③作品資料1と④作品資料2を基に実施するので、同様のものを手元に準備しておくこと。 		
試験に 関する 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ①と②の裏面右上に、必ず前期日程及び氏名を明記しておくこと。③と④にも必ず前期日程及び氏名を、目の付きやすいところに明記しておくこと。(ただし、本学の後期日程と併願する場合には、前期・後期日程及び氏名を明記すること。) ①～③の裏には、上下が分かるように矢印(↑)を書いておくこと。 ①②と③との区別ができるようにしておくこと。 本学の後期日程と併願する場合、③と④は前期・後期両方の作品資料として扱う。それぞれに提出する必要はない。 提出物は簡易書留にて郵送するか、宅配便等にて送付すること。 実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ①素描と②色彩構成は返却しない。 ③と④は試験終了後に返却するが、本学の後期日程と併願している入学志願者の作品資料については、後期日程終了後に返却する。(着払いとする) 	<ul style="list-style-type: none"> 「6 受験上の注意」14～15ページ参照のこと。 		

◆後期日程◆

▼絵画専攻

試験日		3月12日(金)	3月13日(土)	3月14日(日)
試験科目 試験時間	実技：実技作品①(着彩)、実技作品②(作品資料)、小論文	面接 9:30～17:30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技作品①(着彩)及び小論文の「出題文」は、12月7日(月)に本学ホームページにて公表する。 ・実技作品①(着彩)、実技作品②(作品資料)を出願時に郵送等にて本学に提出する。 ・小論文は、出願書類と一緒に封入し提出する。 ※2月5日(金)消印有効	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン(リアルタイム)で実施する。 ・面接時間は、上記の時間内にて1人あたり20分程度。 		「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
提出物 及び 準備する もの	実技作品①(着彩) 油画(着彩)又は日本画(着彩)いずれかの実技を選択する。※用紙、画材等は自分で用意すること。 ・油画(着彩) 用紙及び画材：キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具又は水彩用具。 作品サイズ：キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出) ・日本画(着彩) 用紙及び画材：画用紙に水彩用具。 作品サイズ：木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出) 実技作品②(作品資料) 1年以内に制作した素描、着彩(合計10点以内)を撮影し、プリントアウトした用紙(A4)をクリップで留めること。提出時は実技作品①と一緒に提出。(全用紙下部には、氏名、作品サイズ、制作年、ページ番号を明記する) ※実技作品②(作品資料)は、前期日程・後期日程の併願であっても必ず各1部を提出すること。 ※実技作品①②は返却しない。 小論文 400字詰め原稿用紙(B4版・縦書)に手書きで800字以内 ※小論文は返却しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技作品①②、小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。 ・本学に提出した実技作品②(作品資料)と同様のものを必ず手元に準備しておくこと。 		
試験に関する 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実技作品①の作品裏面右上に、必ず後期日程及び氏名を明記すること。 ・実技作品①の作品裏面中央に、必ず上下が分かるように矢印(↑)を明記すること。 ・小論文は原稿用紙の右上に必ず氏名を明記すること。 ・前期日程・後期日程の併願の場合は、提出物の日程区別がわかるようにして一緒に梱包し郵送等にて提出すること。(※なお、前期日程・後期日程では提出物の内容が異なるため必ず確認すること。) ・実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ・実技作品①②はすべて自作であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「6 受験上の注意」14～15ページ参照のこと。 		

▼彫刻専攻

試験日	3月12日(金)	3月13日(土)	3月14日(日)	3月15日(月)
試験科目 試験時間	実技試験 素描 9:00～12:00 (午後は予備時間とする)	実技試験 塑造 9:00～12:00 (午後は予備時間とする)	面接 9:00～17:00 上記時間内にて20分程度 (午後は予備時間とする)	予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 ○「出題文」は試験開始時に伝える。 ○試験用紙は2月8日(日)以降に本学から送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 ○「出題文(モチーフ)」は試験開始時に、『受験者自身の身体の一部』から出題する。 ○試験用材料は2月8日(月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン(リアルタイム)で実施する。 	○「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照

		以降に本学から送付する。	
受験者が準備すべき用具、資料等	○鉛筆、消具	○塑造用具は2月8日(月)以降に本学から送付したものを使用すること。	○実技試験の塑造作品を側に用意すること。
	以下の資料を本学指定の包装箱に入れ、郵送等にて提出すること。 ①1年以内に描いた素描5枚(紙の種類、大きを問わない。) ②その他作品資料があれば提出。 提出期限：令和3年3月11日(木) 必着		
試験に関する留意点	<p>○出願用書類に記載された入学志願者現住所宛に、本学から次のものを2月8日(月)以降送付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料①②提出用の包装箱 ・「実技試験・素描」の試験用紙 ・「実技試験・塑造」に必要な材料と塑造用具 ・説明書 <p>○実技試験の10日前になっても送付物が届かない場合は、彫刻専攻学科室(098-882-5046)に電話すること。</p> <p>○前期を併願する場合、資料①②は前期・後期両方の提出物として扱う。それぞれに提出する必要はない。</p> <p>○実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。</p> <p>○試験作品及び試験用の材料・用具等は、全て試験終了後に本学へ返送すること。</p> <p>○資料①②は3月16日(火)以降に着払いで返却する。</p> <p>○「6 受験上の注意」14～15ページを参照のこと。</p>		

▼工芸専攻

試験日		3月12日(金)	3月13日(土)	3月14日(日)
試験科目 試験時間	実技：①素描、②色彩構成、③作品資料1、④作品資料2	面接(プレゼンテーション含む) 9:30～17:30		予備日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・①素描と②色彩構成の「出題文」は12月7日(月)に本学ホームページにて公表する。 ・実技(①～④)は出願時に郵送等にて本学に提出すること。 ※2月5日(金)消印有効	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン(リアルタイム)で実施する。 ・面接(プレゼンテーション含む)時間は、上記の時間内にて1人あたり20分程度。 		「6 受験上の注意(その他)」15ページ参照
提出物 及び 準備するもの	<p>①素描 1点 B3画用紙に鉛筆</p> <p>②色彩構成 1点 B3ケント紙又は画用紙に絵の具(①と②で使用する画用紙や鉛筆、絵の具、道具などは、一般的なものを各自で準備する。)(①と②は水張りパネル不可)</p> <p>③作品資料1 1年以内に制作した素描2点と色彩構成2点(モチーフ及びサイズ、制作時間は自由)(水張りパネル不可)</p> <p>④作品資料2 これまでに制作した作品や収集資料などのファイル(あなたの美意識をアピールできるものを、A3サイズのファイルにまとめる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面接は調査書を基に実施する。 ・プレゼンテーションは③作品資料1と④作品資料2を基に実施するので、同様のものを手元に準備しておくこと。 		

<p>試験に関する留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①と②の裏面右上に、必ず後期日程及び氏名を明記しておくこと。③と④にも必ず後期日程及び氏名を、目の付きやすいところに明記しておくこと。(ただし、本学の前期日程と併願する場合には、前期・後期日程及び氏名を明記すること。) ・①～③の裏には、上下が分かるように矢印(↑)を書いておくこと。 ・①②と③との区別ができるようにしておくこと。 ・本学の前期日程と併願する場合、③と④は前期・後期両方の作品資料として扱う。それぞれに提出する必要はない。 ・提出物は簡易書留にて郵送するか、宅配便等にて送付すること。 ・実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ・①素描と②色彩構成は返却しない。 ・③と④は試験終了後に返却する。(着払いとする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「6 受験上の注意」14～15ページを参照のこと。
------------------	---	--

◆追試験◆

全専攻：令和3年3月23日（火）、24日（水）

4 出願手続

- (1) 出願期間は、前期日程試験・後期日程試験ともに令和3年1月25日（月）から2月5日（金）までとする。ただし、2月5日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。
 （注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。
- (2) 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑧の順序に重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。なお、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 (綴込用紙)	ア 入学願書は、記入された文字をOCR（光学文字読取装置）で読みとるので、折り曲げたり、汚したりしないこと。 イ 入学願書は、必ず鉛筆又はシャープペンシル（どちらもHB）を使用し、記入例を参考にして楷書で丁寧かつ正確に記入すること。
②受験票・写真票 (綴込用紙)	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 写真票の成績請求票貼り付け欄内に、大学入試センターから送付されている「令和3年度大学入学共通テスト成績請求票(前期日程用)」または「令和3年度大学入学共通テスト成績請求票(後期日程用)」を貼り付ける。なお、成績請求票は6種類あるので、間違えないよう注意すること。 ウ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真(縦4cm、横3cm)を貼り付けること。
③入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書原符 (綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に志願者本人の住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤調査書	ア 文部科学省所定の様式に従い、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。 イ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。 ウ 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして①卒業証明書 ②成績証明書 ③調査書を発行できない旨の文書をそろえて提出すること。ただし③は出身学校長か教育委員会、または知事が作成したものとする。
⑥受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑦その他の書類	ア 入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 イ 外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。
⑧小論文	絵画専攻（後期日程のみ）

「普通為替証書」見本

(3) 出 願 先 (実技作品等の提出先も同様)

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

(4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程または後期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 前期日程試験・後期日程試験のそれぞれに出願手続きを行うことができる。ただし出願書類は個別に出願すること。
- ウ 入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- エ 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- オ 本学前期日程試験に合格し令和3年3月14日(日)までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程(旧C日程)」試験及び本学を含む「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- カ 出願後は、志望学科・専攻の変更を認めない。
- キ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ク 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

(5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、
令和3年1月21日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

5 受 験 票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と大学入学共通テスト受験票を必ず携帯すること。
- (2) 受験票が、令和3年2月15日(月)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

6 受験上の注意

(前日までに)

- ・受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人に対応できる環境を整えることを求める。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- ・試験に使用できる通信機器は1台とし(緊急時を除く)、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。(※彫刻専攻のオンラインによる実技検査については、台数を制限しない。)
- ・オンラインでの実技検査及び面接の接続時間は本学が指定し、決まり次第受験者へ連絡する。
- ・オンラインシステム(Zoom等)の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するので、接続

テストができるように準備しておくこと。

(試験当日)

- ・受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- ・試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
- ・指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- ・試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- ・試験中の録画・録音は禁止する。
- ・試験時間中は、本人確認が必要なため、マスクを外すこと。
- ・通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- ・試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- ・試験で制作した作品を外部へ一切公表しないこと。

(その他)

- ・個別学力検査等の日程に注意すること。
- ・予備日及び予備時間とは、試験日にオンラインシステム（Zoom等）に接続できなかった受験者が対象。
- ・試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった者は、令和3年3月23日（火）、24日（水）を追試験として受験することができる。その場合には医師の診断書の提出が必要。（対象者には本学より連絡を行う。）
- ・試験の内容に関する質問には、一切答えない。

7 合格者の発表

(1) 合格者の発表

○前期日程試験

令和3年3月5日（金）（午前10時）に受験番号を本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日（月）10:00～2月15日（月）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（金）10:00～3月19日（金）17:00

○後期日程試験

令和3年3月20日（土）（午前10時）に受験番号を本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日（月）10:00～2月15日（月）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月20日（土）10:00～3月31日（水）17:00

○追試験

令和3年3月26日（金）（午前10時）に受験番号を本学ホームページに掲載。

※合格者には入学意思の確認を行うので、26日は確実に連絡できるようにしておくこと。

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間、確実に連絡でき

るようにしておくこと。(連絡は本学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。)

8 入学手続

(1) 入学手続期間

○前期日程 令和3年3月8日(月)～3月14日(日)

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月14日(日)午後5時までの必着とする。
(注意) 消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

○後期日程 令和3年3月22日(月)～3月27日(土)

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月27日(土)午後5時までの必着とする。
(注意) 消印が3月27日以前であっても3月27日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書(本学指定様式)
- イ 保証書(本学指定様式)
- ウ 高等学校卒業証明書又は卒業見込証明書
- エ 大学入学共通テスト受験票(入学手続後、本人に返送)
- オ 入学料領収書の写し(A4サイズでコピー)
- カ 写真2枚(上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm) ※出願時(受験票)とサイズが異なるので注意。
- キ その他(入学者心得に詳細説明)

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、22ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

申請条件 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法(昭和25年法律第144号)による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(5) 手続書類送付先 沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス事務局教務学生課

(6) 留意事項

- ア 令和3年3月14日(日)(前期日程)または3月27日(土)(後期日程)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出すること。
- イ 令和3年3月14日(日)(前期日程)または3月27日(土)(後期日程)までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

9 入試成績開示

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

(1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点又は段階評価で開示する。

(2) 開示請求できる期間

令和3年4月16日（金）～令和3年5月15日（土）（午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。

(3) 開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを参照のこと。

第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、別途発行している「令和3年度学校推薦型選抜学生募集要項」による。

第5 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳以上の者とする。

(1) 日本の国籍を有しない者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）

(3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和2年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者

(4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者

(5) 修学に必要な日本語の能力を有する者

（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

①令和2年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績

②一般志願者と同じの個別学力検査等を課した成績

③出願書類等

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程）と同様に実施する。（6～9ページ参照）ただし、大学入学共通テストは免除する。

4 出願手続

(1) 出願期間 令和3年1月25日（月）～2月5日（金）

- (2) 願書の提出は、「書留郵便で速達」とし郵送すること。日本国内から郵送したものは、2月5日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。
- （注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。
- (3) 出願方法
- 日本国内から出願する場合は、次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑧の順序で重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。また、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 (綴込用紙)	<p>ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。</p> <p>イ 記入は、すべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。</p> <p>ウ 「氏名欄」は、下の欄に入学志願者の氏名を記入し、上の欄に入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。</p> <p>エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。</p> <p>オ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。</p> <p>カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。</p> <p>キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した令和2年度第1回又は第2回日本留学試験の受験番号を記入すること。</p> <p>ク 美術工芸学部絵画専攻の受験者は、油画又は日本画のどちらかを選択し、該当する項目を○で囲むこと。（油画の実技試験（着色）については、キャンバス又は画用紙のいずれかを選択すること。）</p> <p>ケ 美術工芸学部芸術学専攻の受験者は、素描か小論文のどちらかを選択し、該当する項目を○で囲むこと。</p> <p>コ 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。</p>
②受験票・写真票 (綴込用紙)	<p>ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。</p> <p>イ 受験票と写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。</p>
③入学考査料	<p>ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る）</p> <p>イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。</p> <p>ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。</p>
④領収書・領収書原符 (綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に志願者本人の住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤最終学校の卒業証明書及び成績証明書等	<p>日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。</p> <p>なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。</p>
⑥旅券の写し又は在留カード等の写し	外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。
⑦受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他の書類	<p>入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p>

「普通為替証書」見本

(4) 出 願 先 (実技作品等の提出先も同様)

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

(5) 出願上の注意

- ア 出願後は、志願学科・専攻の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ **障がい**を有する等の入学志願者との事前相談について
障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、
令和3年1月21日(木)午後5時までに申し出ること。
また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。
- (ア) 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、
本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- (イ) 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

5 受 験 票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と旅券(パスポート)を必ず携帯すること。
- (2) 受験票が、令和3年2月15日(月)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

6 受験上の注意

(前日までに)

- ・受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人で対応できる環境を整えることを求める。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- ・試験に使用できる通信機器は1台とし(緊急時を除く)、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。(※彫刻専攻のオンラインによる実技検査については、台数を制限しない。)
- ・オンラインでの実技検査及び面接の接続時間は本学が指定し、決まり次第受験者へ連絡する。
- ・オンラインシステム(Zoom等)の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するので、接続テストができるように準備しておくこと。

(試験当日)

- ・受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- ・試験当日は、「本学受験票」と「旅券(パスポート)」の両方を必ず携帯すること。
- ・指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情(公的事情)により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- ・試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- ・試験時間中は、本人確認が必要なため、マスクを外すこと。
- ・試験中の録画・録音は禁止する。
- ・通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- ・試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

- ・試験で制作した作品を外部へ一切公表しないこと。

(その他)

- ・個別学力検査等の日程に注意すること。
- ・予備日及び予備時間とは、試験日にオンラインシステム（Zoom等）に接続できなかった受験者が対象。
- ・試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった者は、令和3年3月23日（火）～24日（水）を追試験として受験することができる。その場合には医師の診断書の提出が必要。（対象者には本学より連絡を行う。）
- ・試験の内容に関する質問には、一切答えない。

7 合格者の発表

令和3年3月5日（金）（午前10時）に受験番号を本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日（月）10:00～2月15日（月）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（金）10:00～3月19日（金）17:00

8 入学手続

- (1) 入学手続期間 令和3年3月8日（月）～3月14日（日）

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月14日（日）午後5時までの必着とする。
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書（本学指定様式）
- イ 保証書（本学指定様式）
- ウ 住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、外国人登録原票記載事項証明書
- エ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
- オ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
- カ その他（入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、22ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について 一般選抜と同様に取り扱う。（22ページ参照）

(5) 手続書類送付先 沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス事務局教務学生課

(6) 留意事項

- ア 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

9 その他

- (1) 私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

第6 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、絵画・彫刻・芸術学・デザイン各専攻においては中学校教諭1種免許状（美術）と高等学校教諭1種免許状（美術）を、工芸専攻においては中学校教諭1種免許状（美術）と高等学校教諭1種免許状（美術及び工芸）を取得することができる。

学 生 生 活

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円
- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）
納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。
ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。
- (3) 入学料及び授業料の減免
原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。
- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
 - ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
 - ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

2 授業料以外に必要な経費

- (1) 実習経費
実習経費（4年間分）は次のとおりで、入学時に一括して納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。（※卒展経費含む）
- ①絵画専攻 油画 300,000円 日本画 320,000円
 - ②彫刻専攻 330,000円
 - ③芸術学専攻 70,000円
 - ④デザイン専攻 170,000円
 - ⑤工芸専攻 320,000円
- (2) 学外研究費
各専攻とも2年次あるいは3年次に予定している必修科目の経費として、各専攻180,000円（芸術学専攻は160,000円）を入学時に納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）

(4) その他(地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用)

4 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険並びに学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険(以下「学研災」という。)は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険(以下「付帯賠」という。)は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。(加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。)

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金(保険料)と保険期間

	掛金(保険料)合計金額 (4年間分)	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

(注) この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 その他

- (1) 本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。なお、借家等の情報は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課において提供している。
- (2) 入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン(又はタブレット等)及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。
- (3) 本学は令和3年4月に公立大学法人に移行する予定。

令和3年度 沖縄県立芸術大学美術工芸学部一般選抜入学願書(前期日程試験)

前期

受験番号

注 1. HBの鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
 2. 訂正は消しゴムできれいに消し、消し屑を残さないこと。
 3. 折り曲げたり、汚したりしないこと。

氏名	カタカナ	<input type="text"/>
	漢字	<input type="text"/>
性別	<input type="text" value="8"/> 1. 男 2. 女	生年月日 S.昭和 <input type="text" value="8"/> H.平成 <input type="text" value="8"/> 年 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> 月 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> 日
志望学科専攻等	11. 美術学科絵画専攻 12. 美術学科彫刻専攻 13. 美術学科芸術学専攻	21. デザイン工芸学科デザイン専攻 22. デザイン工芸学科工芸専攻 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/>

大学入学共通テスト試験成績請求票

受験番号 試験場コード 発行回数

高等学校	高校名	都道府県 <input type="text"/>	国立 公立 私立	高等学校	科(全日・定時・通信)
	コード	<input type="text" value="8"/>	学科	<input type="text" value="8"/>	1. 普通科 4. 工業科 7. その他の学科 2. 理数科 5. 商業科 3. 農業科 6. 総合学科
	卒業年月	S.昭和 <input type="text" value="8"/> H.平成 <input type="text" value="8"/> R.令和 <input type="text" value="8"/>	<input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> 年 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> 月	(卒業・卒業見込)	
	高校以外	<input type="text" value="8"/>	1. 外国の学校等 2. 在外教育施設	3. 文部科学大臣の指定した者 4. 高等学校卒業程度認定試験	5. 高専3年修了、その他 (高等学校の場合、記入しない)

入学志願者現住所	〒 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> - <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/>	都道府県 <input type="text"/>	市区郡 <input type="text"/>
	市区郡以下 <input type="text"/>		
	電話番号(自宅・寮など) <input type="text" value="8"/>	左詰めで記入してください。	
合格通知先	〒 <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> - <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="8"/>	都道府県 <input type="text"/>	市区郡 <input type="text"/>
	市区郡以下 <input type="text"/>		
	携帯番号(本人) <input type="text" value="8"/>	左詰めで記入してください。	

メールアドレス

実技試験の選択	絵画専攻の実技試験の選択	<input type="checkbox"/> 油画	<input type="checkbox"/> 日本画
	絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択	<input type="checkbox"/> キャンバス	<input type="checkbox"/> 画用紙
	芸術学専攻の試験の選択	<input type="checkbox"/> 素描	<input type="checkbox"/> 小論文

数字の記入例

令和3年度 沖縄県立芸術大学美術工芸学部一般選抜入学願書(後期日程試験)

後期

受験番号	8 8 8 8	注 1. HBの鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。 2. 訂正は消しゴムできれいに消し、消し屑を残さないこと。 3. 折り曲げたり、汚したりしないこと。
------	---------	---

氏名	カタカナ	<input type="text"/>
	漢字	<input type="text"/>

性別	<input type="text"/> 1. 男 2. 女	生年月日	S.昭和 <input type="text"/> H.平成 <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
----	-----------------------------------	------	--	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

志望学科 専攻等	11. 美術学科絵画専攻 12. 美術学科彫刻専攻 22. デザイン工芸学科工芸専攻	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-------------	--	----------------------	----------------------

大学入学共通テスト試験成績請求票

受験番号	8 8 8 8 8	試験場 コード	8 8 8 8 8 8	発行 回数	8
------	-----------	------------	-------------	----------	---

高等学校	高校名	都道府県	国立 公立 私立	高等学校	科(全日・定時・通信)			
	コード	8 8 8 8 8 8	学科	<input type="text"/>	1. 普通科 4. 工業科 7. その他の学科 2. 理数科 5. 商業科 3. 農業科 6. 総合学科			
	卒業 年月	S.昭和 <input type="text"/> H.平成 <input type="text"/> R.令和 <input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	(卒業・卒業見込)
	高校 以外	<input type="text"/>	1. 外国の学校等 2. 在外教育施設	3. 文部科学大臣の指定した者 4. 高等学校卒業程度認定試験	5. 高専3年修了、その他 (高等学校の場合、記入しない)			

入学志願者 現住所	〒	<input type="text"/>	都道府県	市区郡
	市区郡 以下			
	電話番号 (自宅・寮など)	<input type="text"/>	左詰めで 記入してください。	

合格通知 先	〒	<input type="text"/>	都道府県	市区郡
	市区郡 以下			
	携帯番号 (本人)	<input type="text"/>	左詰めで 記入してください。	

メールアドレス	<input type="text"/>
---------	----------------------

実技試験 の選択	絵画専攻の実技試験の選択	<input type="checkbox"/> 油画	<input type="checkbox"/> 日本画
	絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択	<input type="checkbox"/> キャンバス	<input type="checkbox"/> 画用紙

数字の記入例	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
--------	---------------------

令和3年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）
美術工芸学部一般選抜写真票

受験番号								
氏名								
志望	学科				専攻			
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。								
大学入試センターから送付されている「令和3年度 大学入学共通テスト成績請求票（前期日程用）」（青色で印刷されている）をのり付けすること。								
出欠確認	本学受験票				共通テスト受験票			
	1	2	3	4	1	2	3	4

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕
 ※絵画専攻油画の実技試験（着彩）の選択〔キャンパス・画用紙〕
 ※芸術学専攻の試験の選択〔素描・小論文〕

（切り離さないこと）

令和3年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）
美術工芸学部一般選抜受験票

受験番号								
氏名								
志望	学科				専攻			
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。								
（注）・試験当日は、本受験票及び大学入学共通テスト受験票の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。								

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕
 ※絵画専攻油画の実技試験（着彩）の選択〔キャンパス・画用紙〕
 ※芸術学専攻の試験の選択〔素描・小論文〕

○記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。

（切り離さないこと）

（切り離さないこと）

（切り取り線）

令和3年度 沖縄県立芸術大学（後期日程試験）
美術工芸学部一般選抜写真票

受験番号								
氏名								
志望専攻	学科				専攻			
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。								
大学入試センターから送付されている「令和3年度 大学入学共通テスト成績請求票（後期日程用）」（赤色で印刷されている）をのり付けすること。								
出欠確認	本学受験票				共通テスト受験票			
	1	2	3	4	1	2	3	4

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕
※絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択〔キャンパス・画用紙〕

(切り離さないこと)

令和3年度 沖縄県立芸術大学（後期日程試験）
美術工芸学部一般選抜受験票

受験番号								
氏名								
志望専攻	学科				専攻			
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。								
(注) ・試験当日は、本受験票及び大学入学共通テスト受験票の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。								

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕
※絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択〔キャンパス・画用紙〕

○記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

(切り取り線)

令和3年度（2021年度）沖縄県立芸術大学
美術工芸学部私費外国人留学生選抜入学願書

受験番号				写 真 出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真をこのわく内にはりつけること。	
フリガナ					
氏名					
生年月日	年 月 日	性別	男・女		
国籍名					
在留資格					
志望学科・専攻	美術工芸学部		学科	専攻	
出願資格	最終学歴	卒業（修了）年月日	年 月 日		
		学校名			
		所在地			
	資格試験	取得年月日	年 月 日		
		名称			
本人住所	現住所	(〒 -)			
			電話 ()	-	
			携帯番号 ()	-	
メールアドレス					
令和2年度（2020年度）第1回日本留学試験の受験番号					番
令和2年度（2020年度）第2回日本留学試験の受験番号					番

- ※ 絵画専攻の実技試験の選択 [油画・日本画]
 ※ 絵画専攻油画の実技試験（着彩）の選択 [キャンバス・画用紙]
 ※ 芸術学専攻の試験の選択 [素描・小論文]

注）・太枠線内は記入しないこと（写真票、受験票についても同じ）。
 ・裏面も記入すること。

合格通知 受信場所	(〒 -) 電話 () -
--------------	--

日本語の学習歴

学 習 機 関 名	所 在 地	学 習 期 間

学 歴

学 校 名	所 在 地	修業年限	入学年月日	卒業(修了)年月日
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
以上を通算した全学校教育年数		年		

職 歴

職 場 名	所 在 地	勤 務 期 間
		～
		～
		～
		～
		～

令和3年度(2021年度) 沖縄県立芸術大学
美術工芸学部私費外国人留学生選抜写真票

受験番号								
フリガナ 氏 名	-----							
志 望 専 攻	学科				専攻			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>写 真</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)の写真をこのわく内にはりつけること。</p> </div>								
出欠確認	本学受験票				旅券(パスポート)			
	1	2	3	4	1	2	3	4

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕

※絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択〔キャンバス・画用紙〕

※芸術学専攻の試験の選択〔素描・小論文〕

(切り離さないこと)

令和3年度(2021年度) 沖縄県立芸術大学
美術工芸学部私費外国人留学生選抜受験票

受験番号								
フリガナ 氏 名	-----							
志 望 専 攻	学科				専攻			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>写 真</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)の写真をこのわく内にはりつけること。</p> </div>								
<p>(注) ・試験当日は、本受験票及び旅券(パスポート)の両方を必ず携帯すること。</p> <p>・試験中は、指定された位置に置くこと。</p>								

※絵画専攻の実技試験の選択〔油画・日本画〕

※絵画専攻油画の実技試験(着彩)の選択〔キャンバス・画用紙〕

※芸術学専攻の試験の選択〔素描・小論文〕

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

(切り取り線)

様式第25号

領 収 書			第 号	調 定 番 号	第 号
領収書番号	第 号	第 号	調 定 番 号	第 号	第 号
納入義務者 住所・氏名					
会計年度	令和2年度		一般会計歳入		
金 額	百	拾	万	千	百
	¥170		0	0	0
内 訳					
種別	摘 要				金額
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・外国人〕 普通為替証書 番号： 美術工芸学部美術学科 ※絵画・彫刻・芸術学 美術工芸学部デザイン工芸学科 ※デザイン・工芸				¥17,000
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。					

- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）入学志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 ※印は、志願する専攻を○で囲むこと。
- 3 その他の欄は記入しないこと。
- 4 本領収書、領収書原符は銀行用紙ではありません。

(切り取り線)

様式第25号

領 収 書 原 符			第 号	調 定 番 号	第 号
領収書番号	第 号	第 号	調 定 番 号	第 号	第 号
納入義務者 住所・氏名					
会計年度	令和2年度		一般会計歳入		
金 額	百	拾	万	千	百
	¥170		0	0	0
内 訳					
種別	摘 要				金額
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・外国人〕 普通為替証書 番号： 美術工芸学部美術学科 ※絵画・彫刻・芸術学 美術工芸学部デザイン工芸学科 ※デザイン・工芸				¥17,000
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。					
領収済印 払込書により令和 年 月 日					
指定（指定代理、収納代理）金融機関					

(切り離さないこと)

様式第25号

領 収 書			第 号	調 定 番 号	第 号
領収書番号	第 号	第 号	第 号	第 号	第 号
納入義務者 住所・氏名					
会計年度	令和2年度		一般会計歳入		
金 額	百	拾	万	千	百
	¥170		0	0	0
内 訳					
種別	摘 要				金額
教育手数料	県立芸大入学検査料〔一般(後期)〕 普通為替証書 番号： 美術工芸学部美術学科 ※絵画・彫刻 美術工芸学部デザイン工芸学科 ※工芸				¥17,000
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。					

- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）入学志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 ※印は、志願する専攻を○で囲むこと。
- 3 その他の欄は記入しないこと。
- 4 本領収書、領収原符は銀行用紙ではありません。

(切り取り線)

様式第25号

領 収 書 原 符			第 号	調 定 番 号	第 号
領収書番号	第 号	第 号	第 号	第 号	第 号
納入義務者 住所・氏名					
会計年度	令和2年度		一般会計歳入		
金 額	百	拾	万	千	百
	¥170		0	0	0
内 訳					
種別	摘 要				金額
教育手数料	県立芸大入学検査料〔一般(後期)〕 普通為替証書 番号： 美術工芸学部美術学科 ※絵画・彫刻 美術工芸学部デザイン工芸学科 ※工芸				¥17,000
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。					
領収済印 払込書により令和 年 月 日 指定（指定代理、収納代理）金融機関					

(切り離さないこと)

速 達



切手374円を貼り
付けること。
この封筒に郵便番
号、住所、氏名を
明記すること。

受験票在中

※
一般選抜（前期日程試験）
私費外国人留学生選抜
共通

殿

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電 話（098）882-5080（直 通）

速 達

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

切手374円を貼り
付けること。

この封筒に郵便番
号、住所、氏名を
明記すること。

※
一般選抜（後期日程試験）

受 験 票 在 中

殿

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電 話 (098) 882-5080 (直 通)

速達

9 0 3 8 6 0 2

書留郵便及び
速達料金の
切手を貼り
付けること。

沖縄県那覇市首里当蔵町一―四

沖縄県立芸術大学事務局

教務学生課
行

書留

※日本国内からの出願は令和三年(二〇二一年)二月五日郵送発信局消印有効
※外国からの出願は令和三年(二〇二一年)二月五日午後五時必着

書留引受番号	
--------	--

差出人	出願区分	1 一般選拔出願(前期日程試験) 2 私費外国人留学生選拔出願 ※該当する出願区分を○で囲んでください
	志望学部	美術工芸学部 _____ 学科 _____ 専攻
	住所	(郵便番号) _____ (電話) () _____ (_____ 方)
	氏名	
	出身学校	都道府県 _____ 学校 (電話) () _____

次の書類を順序どおりにクリップでとめ、この封筒に入れること。

順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類の場合
1	入学願書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの）
6	受験票送付用封筒
7	その他の書類（要提出者のみ）

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合
1	入学願書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等
6	旅券の写し又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写し
7	受験票送付用封筒
8	その他の書類（要提出者のみ）

（注1）この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

（注2）美術工芸学部の実技作品（提出型）は、別で郵送等で提出すること。

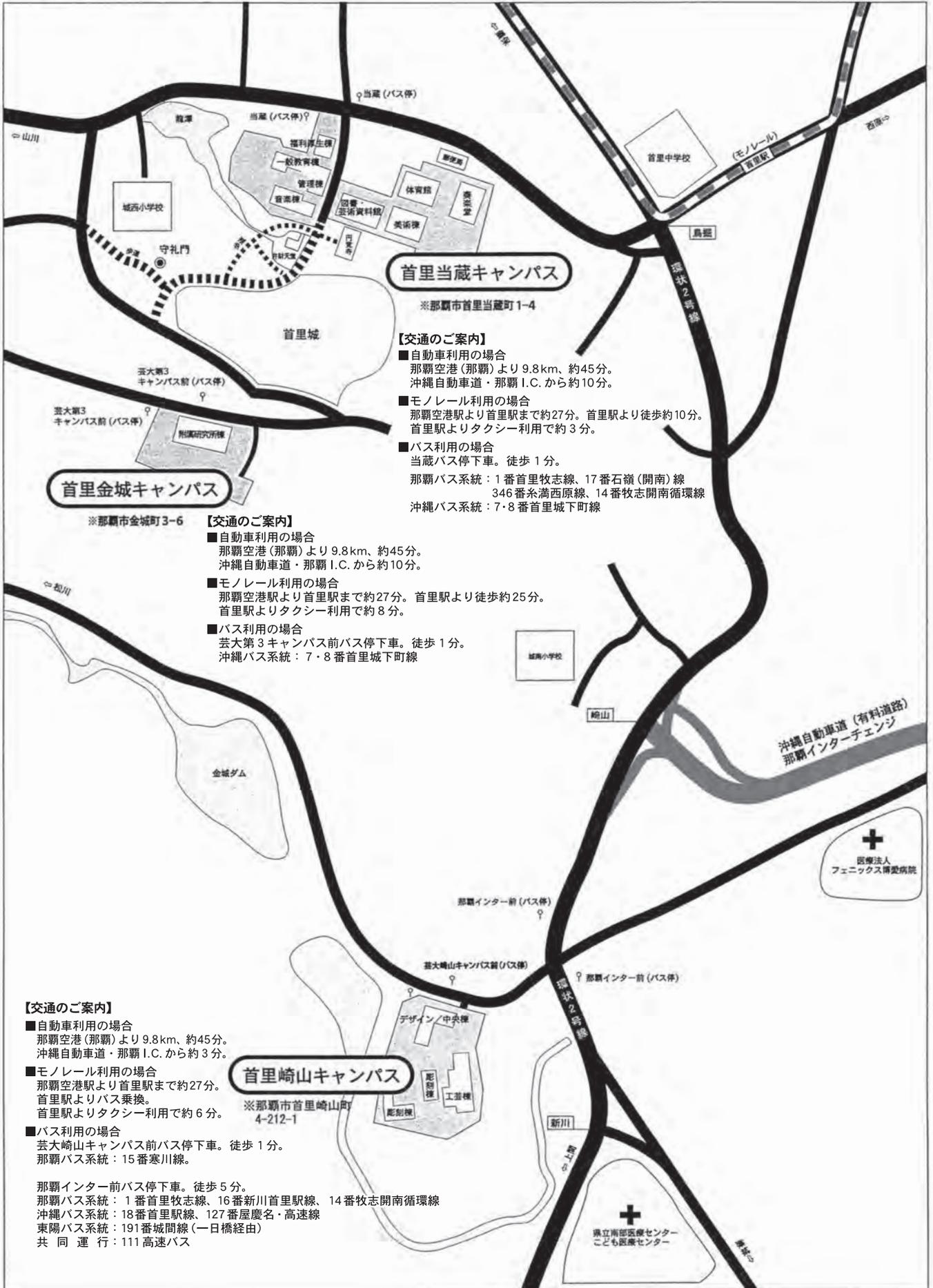
次の書類を順序どおりにクリップでとめ、この封筒に入れること。

順序	一般選抜（後期日程試験）出願書類の場合
1	入学願書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの）
6	受験票送付用封筒
7	その他の書類（要提出者のみ）
8	小論文（絵画専攻のみ）

（注1）この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

（注2）美術工芸学部の実技作品（提出型）は、別で郵送等で提出すること。

沖縄県立芸術大学周辺略図



首里当蔵キャンパス

※那覇市首里当蔵町1-4

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。
首里駅よりタクシー利用で約3分。
- バス利用の場合
当蔵バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統：1番首里牧志線、17番石嶺(開南)線
346番糸満西原線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

首里金城キャンパス

※那覇市金城町3-6

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約25分。
首里駅よりタクシー利用で約8分。
- バス利用の場合
芸大第3キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

首里崎山キャンパス

※那覇市首里崎山町4-212-1

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。
 - モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。
首里駅よりバス乗換。
首里駅よりタクシー利用で約6分。
 - バス利用の場合
芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統：15番寒川線。
- 那覇インター前バス停下車。徒歩5分。
那覇バス系統：1番首里牧志線、16番新川首里駅線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統：18番首里駅線、127番屋敷名・高速線
東陽バス系統：191番城間線(一日橋経由)
共同運行：111高速バス

